MIKUNI life & auto

ＣＳＳＴ－０３２５Ｂ

介護用電動リフト

ＢＭＵ２０１
ＢＭＰ２０１

取扱説明書

本説明書および注意銘板の内容を熟知しない方は、使用しないでください。また、お子様が勝手に操作されないよう、ご注意ください。

本説明書は最終のお客様までお届け下さい

株式会社 ミクニライフ&オート

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本装置は、ベッドや車いすの間など要介護者が移乗の際に介護者の負担を軽減するためのリフトです。

ご使用の前に、本説明書を最後までお読みいただき、禁止事項、使用上の注意事項、正しい操作方法などをご理解の上、ご使用ください。

また本説明書をお読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目　次

１．安全上の注意……　１
　１－１.本説明書での表示方法……　１
　１－２.取扱い全般……　２
　１－３.据え付け、取付け……　２
　１－４.運転と操作……　３
２．各部の名称……　５
　２－１.リフト本体……　５
　２－２.ハンガー……　６
　２－３.リモコン……　７
　２－４.充電器……　９
　２－５.充電ターミナル……
３．準備……　９
　３－１.リモコンの準備……　９
　３－２.充電……
４．点検と保守……１２
　４－１.日常点検……１２
　４－２.定期点検……１２
５．使い方……１２
　５－１.電源の投入と切断
　５－２.上昇……１２
　５－３.降下……１３
　５－４.緊急時の降下……１３
　５－５.走行……１３
　５－６.充電ターミナルでの充電
　５－７.ブザー
６．故障について……１４
７．お手入れ……１５
８．交換部品……１５
９．仕様……１５
１０．廃棄……１５

１．安全上のご注意

１－１．本説明書での表示方法

本説明書では、注意事項を「警告」と「注意」の二つに区分しています。

区分	危険の程度
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷*1 を負うことがある。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、軽傷*2 を負うことがあるか、または物的損害の発生することがある。

*1　重傷とは、失明、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
*2　軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいいます。

また、各注意文には、下記の記号がつけてあります。

記　号	意　味
	禁止されている行為を表します。
	発火、感電、高温などの注意を表します。
	強制を表します。

1－2. 取扱い全般

警告	
	・他の用途に使用しない 本製品は、介護者の負担低減や要介護者の移乗支援以外の用途には使用しないでください。
	・ハンガーに移乗介助専用の吊り具以外のものは掛けない 荷物や異なる形状の吊り具を吊ると不安定な状態になり、転倒、落下しけがをする恐れがあります。
	・外国では使用しない 本製品は日本国内に限って使用するよう製作しています。
	・分解、修理、改造をしない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・電源コードやケーブルは乱暴に扱わない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。

1－3. 据え付け、取付け

警告	
	・指定のレール、架台以外に取付けない 転倒、落下しけがをする恐れがあります。
	・据え付けは専門業者や専門知識のある人以外は行わない 走行レール、リフト本体、電源装置関連機器の据え付けは専門業者や専門知識のある人以外は行わないでください。
	・本説明書に記載されている環境以外では使用しない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・走行レールの端にはストッパを取付ける ストッパがない状態で使用すると、リフト本体が脱落する恐れがあります。
	・設置する場所に十分な強度があることを確認する 十分な強度が無い場合、転倒、落下によるけがをする恐れがあります。

1－4．運転と操作

⚠ 警告	
	・100kg を超える荷重をかけない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・過度の斜め吊りは行わない リフト本体やベルトの破損や、転倒、落下によるけがをする恐れがあります。
	・吊り具からおりた後、吊り具を首や手首に掛けたまま操作を行わない 転倒、落下によるけがをする恐れがあります。
	・走行中のリフトをストッパに当てて止めない 転倒、落下によるけがや、機器が破損する恐れがあります。
	・非常降下ひもで降りるときは、一気に下へ降ろさない 転倒、落下によるけがをする恐れがあります。
	・リフト本体に故意に水をかけたり、水中に落としたりしない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・ベルトが濡れた場合、そのまま巻き取らない 内部に水滴がのこり、火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。ベルトは十分に乾燥させてから巻き上げてください。
	・リフト本体やリモコンが水に浸かった場合、使用しない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。速やかに販売店または発売元にご連絡ください。

⚠ 警告	
	・必ず介護者の介助のもとで使用する 乗る方が操作すると、転倒、落下しけがをする恐れがあります。
	・動かす前に、ハンガーに他のものが掛かっていないか確認する 火災、発熱、故障、落下によるけがをする恐れがあります。
	・吊り具を着脱する際に、ハンガーを手で押さえて振れないようにする ハンガーが振れ、人にぶつかりけがをする恐れがあります。

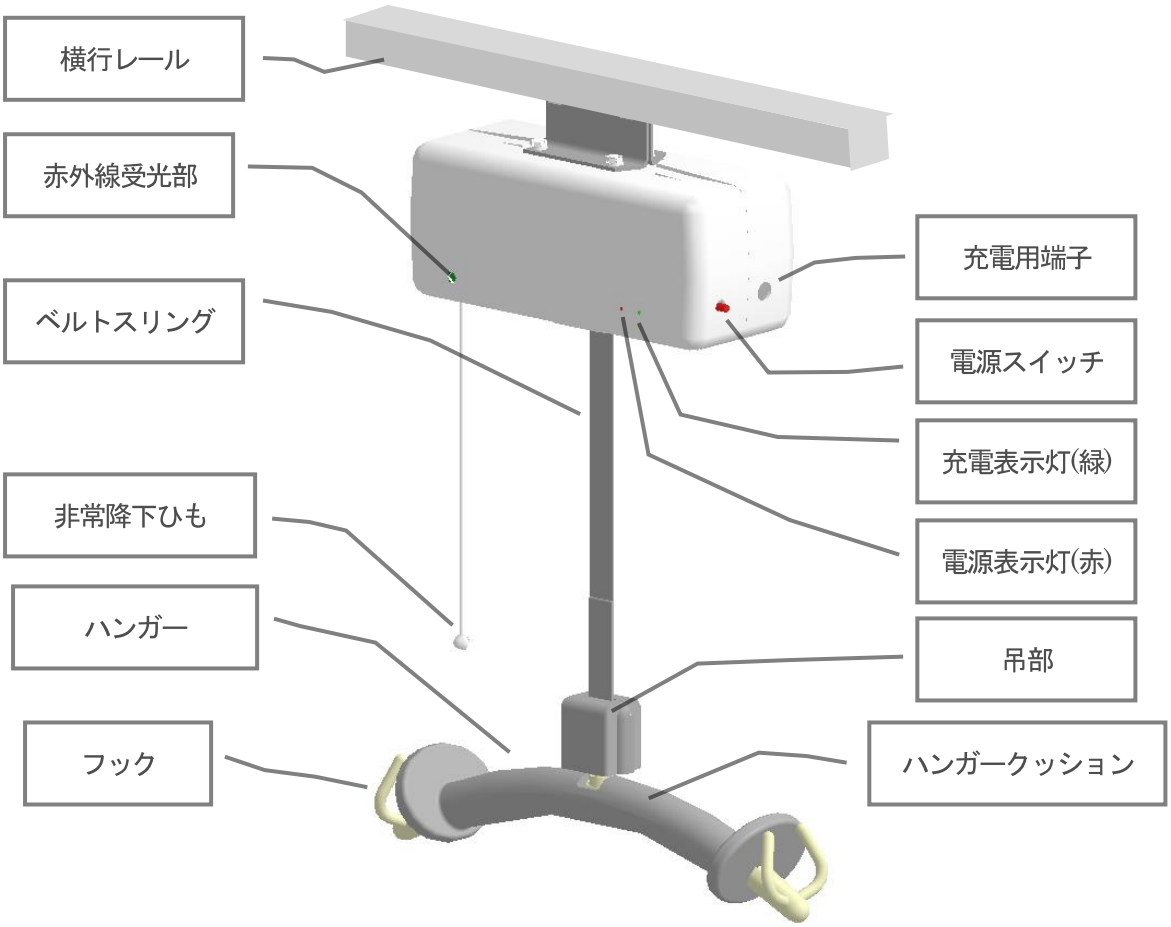
	・吊り具のかけひもをハンガーのフックに確実に掛ける 外れたままリフトを昇降させると要介護者に苦痛を与えたり、リフトから落下するなどしてけがをする恐れがあります。（吊り具については別冊の「パートナー吊り具取扱説明書」をご覧ください。）
	・操作するときは、リフトの動作を常に見ながら行う 見えない位置から操作すると、第三者や障害物への衝突や引掛けなどにより、けがや破損する恐れがあります。

２．各部の名称

下図に各部の名称を示します。ご確認下さい。

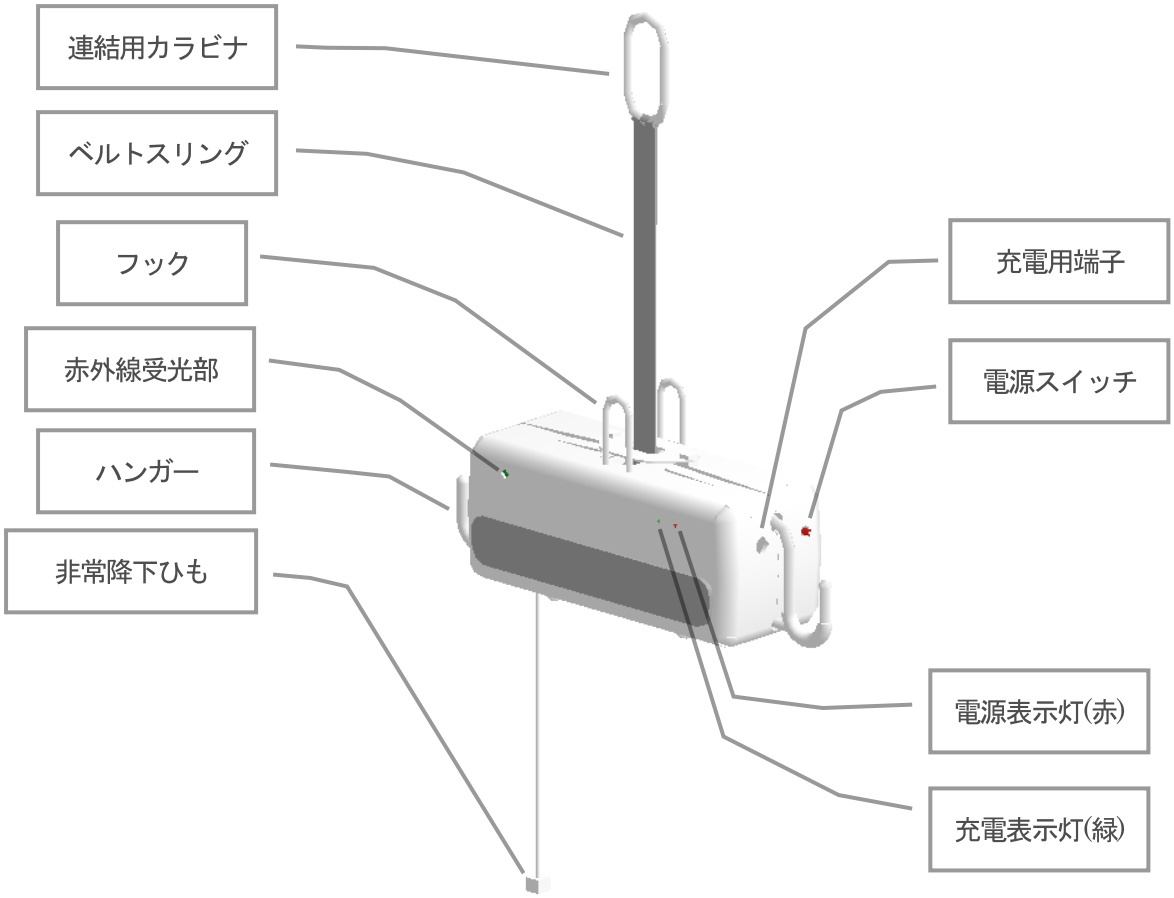
2−１.リフト本体

①BMU２０１



名称	説明
横行レール	リフトはこのレールにそって移動します。(オプションでスライドレールが付く場合があります。)
電源スイッチ	電源の入・切を行います。
赤外線受光部	リモコンからの赤外線を受光します。(両面にあります)
充電用端子	充電する時に充電器の出力コードを接続します。
電源表示灯(赤)	電源が入れられている場合に点灯します。(両面にあります)
充電表示灯(緑)	充電時に点灯、ベルト異常時に点滅します。(両面にあります)
非常降下ひも	リモコンで降下しない場合にこのひもを引いて降下します。
ベルトスリング	このベルトスリングがリフト本体に巻き取られて上昇します。
ハンガー	吊部、クッション、フックを含めた全体をさします。
吊部	ベルトスリングとハンガーの接続部です。
ハンガークッション	介護者、要介護者にハンガーが触れた場合の衝撃を和らげます。
フック	吊り具のかけひもなどを掛けます。

②BMP２０１



名称	説明
電源スイッチ	電源の入・切を行います。
赤外線受光部	リモコンからの赤外線を受光します。(両面にあります)
充電用端子	充電する時に充電器の出力コードを接続します。
電源表示灯(赤)	電源が入れられている場合に点灯します。(両面にあります)
充電表示灯(緑)	充電時に点灯、ベルト異常時に点滅します。(両面にあります)
非常降下ひも	リモコンで降下しない場合にこのひもを引いて降下します。
ベルトスリング	このベルトスリングがリフト本体に巻き取られて上昇します。
フック	鴨居くぐりなどレール間を移乗する場合に使用します。
ハンガー	吊り具のかけひもなどを掛けます。
連結用カラビナ	リフト本体と移動車輪とをつなぎます。

ＢＭＵ２０１、ＢＭＰ２０１とも表示灯は以下のように表示されます。

ＬＥＤ表示灯		状態	対応
赤	緑		
●	●	電源 OFF	―
●	○	電源 OFF（充電中）	―
○	○	電源 ON（充電中）	バッテリーを十分に充電できない恐れがあります。リフト本体の電源を切ってください。
○	●	通常動作	―
○	◎ （点滅）	ベルト上限検出 ベルト異常	ハンガーが上限まで上がっているか、ベルトがねじれて巻き込まれています。ハンガーを降下させてください
◎ （点滅）	●	バッテリー容量低下	バッテリーを充電してください。

●：消灯、○：点灯、◎：点滅

2-3. リモコン

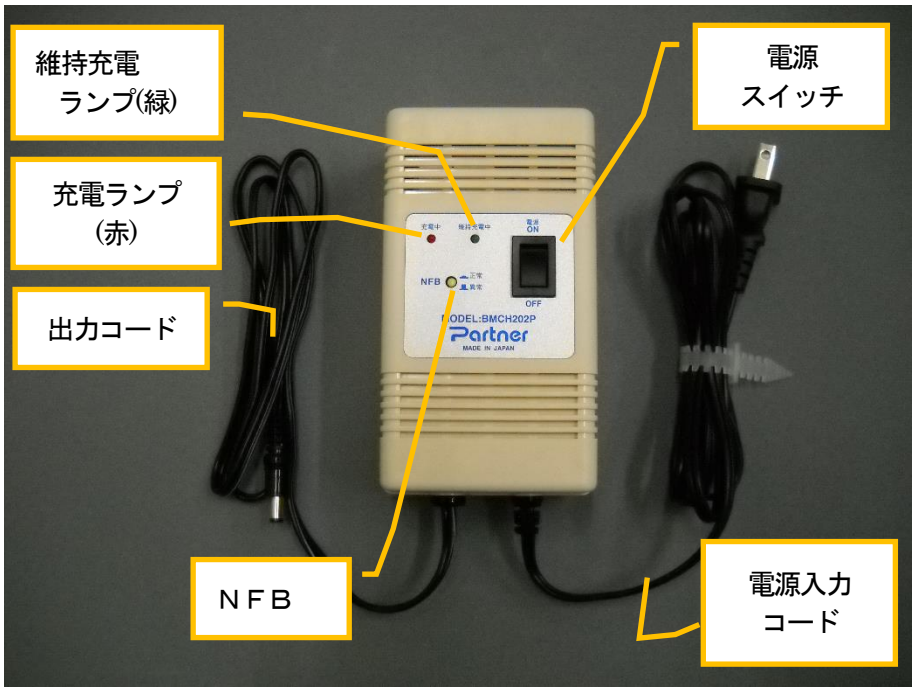
リモコンの外形を以下に示します。

名称	説明
赤外線発光窓	操作するときはここをリフト本体の赤外線受光部に向けてください。
指令確認表示灯	「上」「下」押しボタンスイッチを押すと点灯します。点滅する場合は、電池が消耗しているので早めに交換してください。点灯しない場合は電池を交換してください。
上押しボタンスイッチ	押している間だけハンガーが上昇し、離すと停止します。
下押しボタンスイッチ	押している間だけハンガーが降下し、離すと停止します。
電池収納蓋	電池収納部の蓋です。
蓋固定ビス	電池収納蓋を固定するビスです。電池を交換する場合には１円硬貨等で回します。
グリップ取付け溝	グリップを取付ける際にこの溝にはめ込んで下さい。
ストラップ取付穴	ストラップを取り付ける場合はこの穴に通して下さい。

グリップを取付ける際は、付属の長い固定ビスを使い電池収納蓋と一緒に固定してください。
グリップは上側にも下側にもとりつけることができます。

2－4. 充電器

充電器の外形を示します。リフト本体のバッテリーに充電する場合は出力コードをリフト本体に接続します。



名称	説明
電源入力コード	AC100V に接続します。
電源スイッチ	充電器の電源の入・切を行います。
出力コード	リフト本体に接続して充電します。
ＮＦＢ	バッテリーへの過大電流を防ぐ制限器です。異常時には黄色いボタンがでます。
充電ランプ(赤)	２つのランプでバッテリーの充電状態を示します。
維持充電ランプ(緑)	

充電器の表示灯は以下のように表示されます。

ランプ		状態	備考
充電ランプ (赤)	維持充電ランプ (緑)		
●	●	電源 OFF	―
○	●	充電中	―
○	○	タイマー 充電中	バッテリーを満充電にするため約１時間のタイマー充電を行います。
●	○	維持充電中	バッテリーの自己放電を補い、常に満充電に維持する充電です。

●：消灯、○：点灯

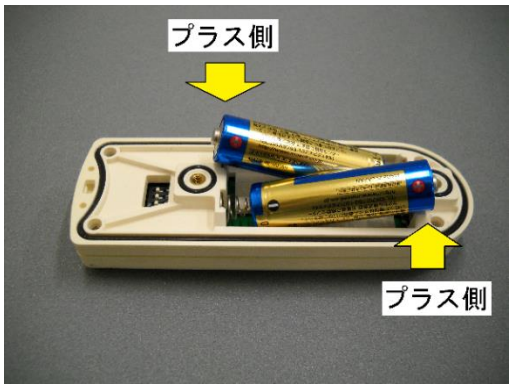
設計上の標準使用期間は８年です。これを経過して使用した場合、発熱や破損によるけが等に至る場合があります。

３．準備

３−１．リモコンの準備

使用する前に、リモコンに電池を入れてください。

No.	項目	説明
1	蓋を開ける	１円硬貨等を使って蓋固定ビスを緩め電池収納蓋を取り外します。
2	電池を入れる	電池を入れる箇所の表示に合わせて電池を入れます。電池は単３型乾電池を２本使用します。
3	蓋を閉じる	電池収納蓋を取付け、１円硬貨等をつかって蓋固定ビスを締めます。



ご使用時は赤外線発光窓をリフト本体の赤外線受光部に向けてください。操作可能な距離は約３ｍです。赤外線受光部との間に光を遮るものが無い位置でご使用ください。

⚠ 警告	
🚫	**・操作ボタンを２つ以上同時に押さない** 予期せぬ動作をし、転倒、落下によるけがをする恐れがあります。

⚠ 注意	
🚫	**・湿度の高いところ、水のかかるところでは蓋を開けない** 内部が腐食し故障の原因となります。
🚫	**・内部の部品に触れない** 故障の原因となります。
🚫	**・長時間使用しない場合電池を入れたままにしない** 電池が液漏れし故障の原因となります。
🚫	**・リモコンを水の中に落としたり、故意に水をかけたりしない** 内部が腐食し故障の原因となります。

3-2. 充電

設置してからご使用になるまで充電をおこなわずに置かれていれていた場合に、リフト本体に内蔵されているバッテリーが自己放電によって容量低下している場合があります。

ご使用になる前に、「５－６．充電器での充電」を参照しバッテリーを充電してください。

４．点検と保守

安全にご使用いただくために、日常点検と定期点検を実施してください。

4-1. 日常点検

使用する前には、人を乗せずに以下の事項を確認下さい。

No.	点検項目
1	ハンガーは支障なく昇降しますか。異音はありませんか。
2	ハンガーを上昇させたとき、上限で停止しますか。
3	リフトはレール上を支障なく走行しますか。異音がありませんか。
4	ベルトスリングに亀裂、擦り傷、ほつれ、色落ちはありませんか。
5	ハンガーのフックにキズ、亀裂はありませんか。
6	非常降下ひもに弛みはありませんか。
7	レールにキズや亀裂はありませんか。
8	レールにストッパは正しく取付けられていますか。

4-2. 定期点検

安全にご使用いただくために、１年に一度販売店または発売元による定期点検を受けるようお願いします。

詳しくは、販売店または発売元にお問い合わせください。

５．使い方

5-1. 電源の投入と切断

電源スイッチを押して電源を入れてください。電源が入ると電源表示灯(赤)が点灯します。電源が入った状態で押すと電源が切られ電源表示灯(赤)が消灯します。

⚠ 注意

・長期間使用しない場合は電源を切る

誤操作による事故を防ぐため電源を切ってください。

5-2. 上昇

上昇させるには以下のように操作します。

No.	操作
1	リモコンの赤外線発光窓をリフト本体の赤外線受光部に向け、上押しボタンスイッチを押し続けて下さい。押している間、上昇します。
2	必要な位置まで上昇したら上押しボタンスイッチから指を離して停止させて下さい。

以下に示す状態となった場合、上昇を自動で停止し、上押しボタンスイッチを押しても上昇しなくなります。

No.	状態
1	ハンガー上部のベルトが２重に縫われている部分までリフト本体に巻き取られた場合
2	ベルトがねじれてリフト本体に巻き取られた場合
3	過度な斜め吊りをおこなった場合

この場合は上押しボタンスイッチから指を離し、下押しボタンスイッチを押して降下させてください。

⚠ 注意

・ベルトが２重に縫われている部分が薄くなったらベルトを交換する

ベルトが上昇し続けリフト本体を破損する恐れがあります。

5－3. 降下

降下させるには以下のように操作します。

No.	操作
1	リモコンの赤外線発光窓をリフト本体の赤外線受光部に向け、下押しボタンスイッチを押し続けて下さい。押している間、降下します。
2	必要な位置まで降下したら下押しボタンスイッチから指を離して停止させて下さい。

ベルトスリングが全て出し切った状態となると降下が停止します。上押しボタンスイッチを押して上昇させてください。

⚠ 注意

・降下時、ベルトスリングの赤マークがでたらそれ以上降下させない

ベルトスリングの異常な摩耗や逆巻を引き起こし、破損や転倒、落下によるけがをする恐れがあります。

5－4. 緊急時の降下

リモコンの下押しボタンスイッチを押しても降下しない、あるいはバッテリーの容量低下等でリフトが降下しないような場合、非常降下ひもを引いて降下することができます。

吊られる方の状況や周りの状況を確認しながらゆっくりと何回かにわけて降下させてください。

⚠ 警告	
	・非常降下ひもは一気に引かない 急激に降下し転倒、落下によるけがをする恐れがあります。

ハンガーにおおよそ４０ｋｇ以上の質量がかかっていないと降下しない場合があります。この場合はハンガーに力を加えて降下させてください。

5-5. 走行

手動走行式となりますので、介護者がハンガーまたは要介護者の肩に手を添え、進行方向に押してください。この時、過度な斜め吊り(進行方向は５度以内を目安)とならないよう軽く押してください。

⚠ 警告	
	・走行方向に障害物が無いかを確認する 走行中にぶつかり転倒、落下によるけがをする恐れがあります。

5-6. 充電器での充電

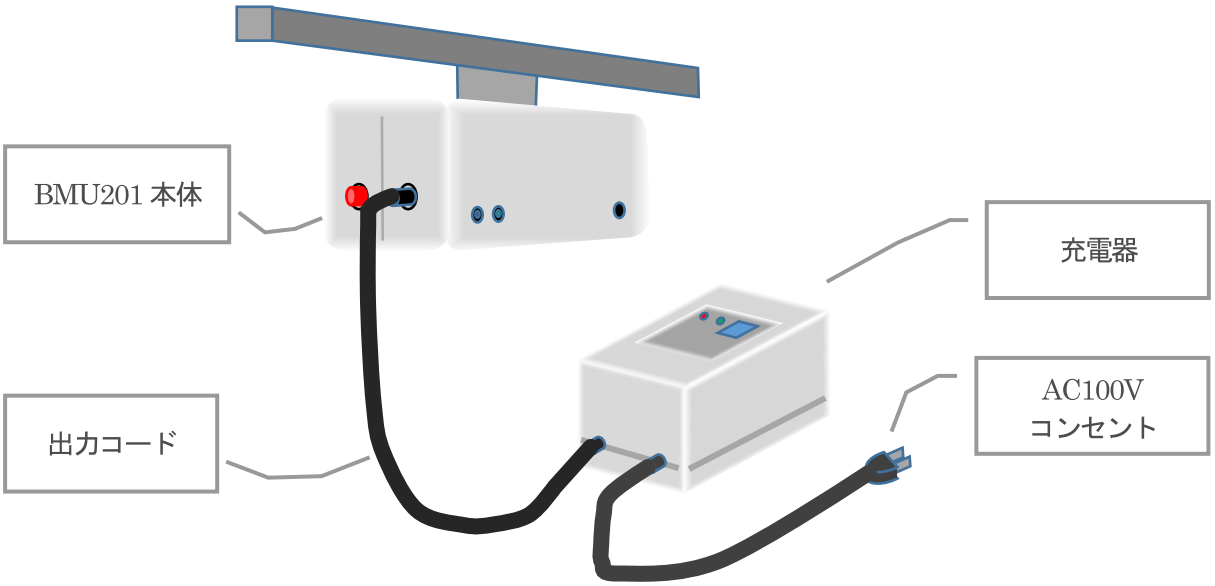
リフト本体に内蔵されているバッテリーの充電は以下のように行ってください。

No.	操作
1	リフト本体の電源スイッチを押して電源を切る。この時、電源表示灯(赤)が消灯していることを確認する。
2	充電器の電源スイッチが切られていることを確認する。入れられている場合は切る。
3	充電器の出力コードをリフト本体の充電用端子につなぐ。届かない場合は付属の延長コードを使う。
4	充電器の電源スイッチを入れる。この時、リフト本体の充電表示灯(緑)が点灯していることを確認する。
5	約4時間で充電が完了する。
6	充電器の電源スイッチを切り、リフト本体から充電器の出力コードを抜く。

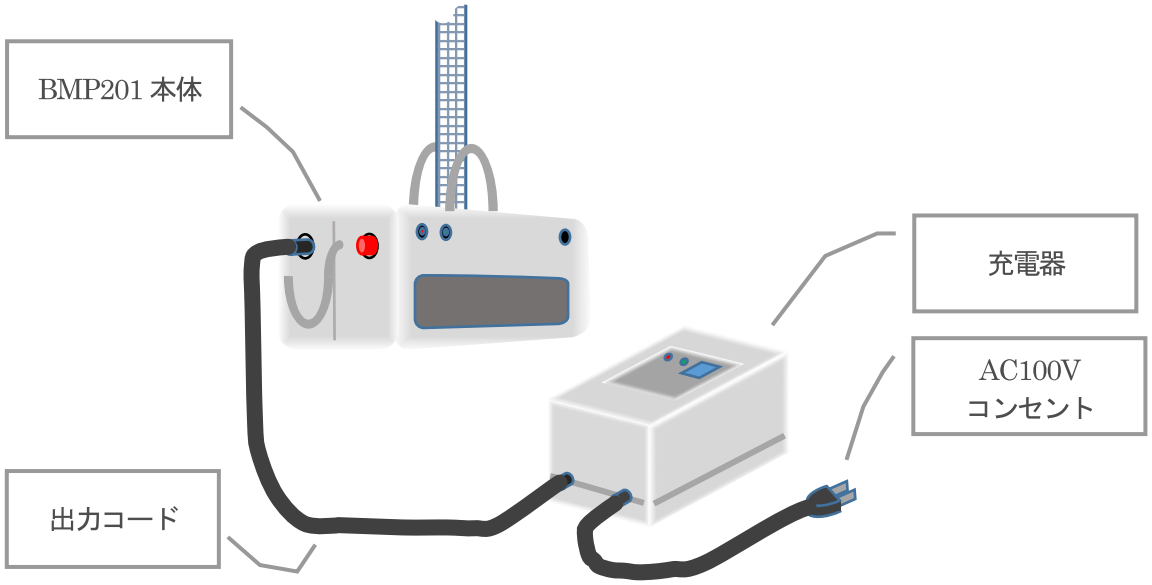
充電器の表示灯は以下のように表示されます。
バッテリーの充電が完了すると下記の表示の内の維持充電中の表示となります。

ランプ		状態	備考
充電ランプ (赤)	維持充電ランプ (緑)		
●	●	電源 OFF	―
○	●	充電中	―
○	○	タイマー 充電中	バッテリーを満充電にするため約１時間のタイマー充電を行います。
●	○	維持充電中	バッテリーの自己放電を補い、常に満充電に維持する充電です。

・ＢＭＵ２０１充電時の接続



・ＢＭＰ２０１充電時の接続



警告	
	・湿度の高いところ、水のかかるところには置かない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・分解しない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・充電器の回りを囲まない 火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。
	・他の用途には使わない 当社製リフトの充電以外で使用した場合、火災、感電、発熱、故障、けがをする恐れがあります。

注意	
	・長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜く 誤操作による事故を防ぐため電源プラグをコンセントから抜いてください。

5−7. ブザー

リフト本体のＬＥＤ表示灯(赤)が点滅した状態で使い続けた場合や、そのまま充電しなかった場合に上昇させることができなくなりブザーがなります。

要介護者が乗っている場合は安全な場所に降ろしてから、「5−6. 充電器での充電」に従いただちに充電してください。

ブザーが鳴った後も充電を行わなかった場合、充電してもバッテリーがもとに戻らないことがあります。この場合はバッテリーを交換してください。

バッテリーの交換は、販売店または発売元にご連絡ください。

６．故障について

故障かなと思った時は以下の点について確認してください。

症状	確認	対処
リフト本体の電源表示灯が点灯しない	電源が入れられていますか。	電源スイッチを押して電源を入れてください。
リモコンの操作ボタンスイッチを押しても指令表示灯が点灯しない。	リモコンの電池は正しく入れられていますか。	電池を正しい向きに入れてください。
	電池は消耗していませんか。	電池を交換してください。
上押しボタンスイッチを押しても上昇しない	ベルトスリングが上限に達していませんか。	下押しボタンスイッチを押して降下させてください。
	ベルトスリングがねじれて巻き取られていませんか。	下押しボタンスイッチを押して降下させて、ねじれをもどしてください。
	過度に斜め吊りをしていませんか。	斜め吊りを戻してください。
下押しボタンスイッチを押しても降下しない	ベルトスリングが出きっていませんか。	上押しボタンスイッチを押して上昇させてください。
電源表示灯もリモコンの指令表示灯も正常なのに動作しない	リモコンの赤外線発光窓はリフト本体の赤外線受光部に向いていますか。	リモコンの赤外線発光窓をリフト本体の赤外線受光部に向けてください。
	リモコンの赤外線発光窓とリフト本体の赤外線受光部との間に光を遮るものはありませんか。	光を遮るものを取り除いてください。
	リフト本体とリモコンの組み合わせは合っていますか。	設置時に合わせた組み合わせとなるようにしてください。

７．お手入れ

汚れを取る場合は、布に水もしくはうすめた中性洗剤の溶液を浸したのち固く絞ってふき取り、乾いた布でふき取ってください。

強い酸、アルカリ系、塩素系の溶液は絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

・酸、アルカリ、塩素を含んだ溶液は使用しない

リフト本体の破損、ベルトスリングの破断などを引き起こし、転倒、落下によるけがをする恐れがあります。

８．交換部品

定期的に交換を推奨する部品と期間を表に示します。ご使用の状況によってこれより短くなる場合があります。

品名	推奨交換期間
ベルトスリング	４年
バッテリー	２年
充電器	８年

９．仕様

形式	ＢＭＵ２０１	ＢＭＰ２０１
吊上げ質量	１００ｋｇ	１００ｋｇ
吊上げ距離	約１．４ｍ	
昇降方式	電動（３１Ｗ）	
昇降速度(平均)	上昇：1.3m/min、降下：1.8m/min	
走行方式	手動	
操作方法	リモコン(赤外線)	
リフト動力電源	バッテリー	
充電器入力	AC100V 50/60Hz	
保護装置	・非常降下装置 ・空転防止ブレーキ ・ベルト斜め吊、ねじれ折り込み検出 ・ベルト逆巻検出 ・電気ヒューズ	
リフト本体質量	約８ｋｇ	

使用環境

	使用時	保管時
温度範囲	０～４０℃	－１０～４０℃
相対湿度範囲	８５%ＲＨ以下	８５%ＲＨ以下

１０．廃棄

本製品を廃棄する場合は、ご使用の地域の規則に従ってください。

バッテリーはリサイクルが可能です。
交換したバッテリーは家庭用ごみとは一緒に捨てないでください。
バッテリーを廃棄する場合は最寄のリサイクル施設に引き渡すか、販売店または発売元にご相談下さい。

MIKUNI life & auto
Mikuni × Nissin automotive industry

株式会社 ミクニライフ&オート

【本社】〒349-1145　埼玉県加須市間口 456-1
TEL. 0480（31）8541 FAX. 0480（72）7223